

# 平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	総務部	交通防犯課		内線等	1462
----	-----	-------	--	-----	------

事業コード		事務事業名	特定区画バス等運行補助事業		
根拠法令等		道路運送法	A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け  
基本目標

その他	施策名 その他
-----	------------

## 事務事業の内容

対象	市民に
手段	定期バス路線の運営費を補助することによって
想定する成果	通院、通勤、通学の利便を図る。

## 事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
地方バス路線維持費補助金	3,878,000	1,482,000	933,000
特定区画バス運行補助金	30,071,000	37,593,000	33,294,000
蒲郡無料バスの日運行補助金	7,695,000	8,100,000	9,605,000
合計	41,644,000	47,175,000	43,832,000

## 目標値

成果指標名	補助率
成果指標の説明	補助金/補助対象事業費 × 100

## 事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	55.70%
	実績	37.40%	38.10%	-
事業費	事業費	41,658,147	47,187,762	43,846,842
	人件費	1,714,400	1,671,600	1,699,400
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	43,372,547	48,859,362	45,546,242
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	43,372,547	48,859,362	45,546,242

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	国・県の補助制度を活用しながら路線を編成した
効率性	6	6	国・県の補助制度が変わり負担が増えた（地方バス路線維持費補助金対象路線の減）
公共性	10	10	高齢化社会への生活交通確保として路線維持としての補助制度は必要
緊急度	10	10	生活交通確保として継続的維持が必要
小計	32	32	
市民参加度	3	3	バス運転手を通じ利用者から要望を聞き取っている
合計	35	35	
総合評価	B	B	バス事業者が乗合バス規制緩和、NoXPM法により経営弱体化しているため現状維持が心配である。

### これまでに実施した改善点

達成度	広報にてバス利用をPRした
効率性	バス事業者へ経営努力を依頼した
公共性	
緊急度	生活交通確保として収益性を高めるためラグーナ蒲郡の路線を検討した
市民参加度	ダイヤ改正時、利用者の要望をできるだけ取り入れたものになっている

### 今後の改善すべき点

達成度	路線維持のためにも利用者を増加させる運営努力を検討する
効率性	バス事業者と経費削減および利用者の拡大を検討する
公共性	生活交通の確保のため路線の維持をしたい
緊急度	
市民参加度	乗降調査結果と利用者の要望をあわせバス運行を検討したい